

## 第1回検討会議を踏まえた論点の整理について

資料1

6月6日に行われた「第1回多分野連携・次世代型交通サービス検討会議」において委員より多くのご意見をいただいたところである。

検討会議での意見を踏まえ、以下のとおり論点を整理させていただいた。各論点について、資料2により御議論いただきたい。

	第1回検討会議でいただいた意見	論点の整理
貨客混載について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貨客混載の取組については、当社では全国で2, 3例しかない。非常にローカルなエリアでは有効な取組であると思う。</li> <li>・乗車率の低いエリアについては運送事業者と連携して取り組んでいきたい。</li> </ul>	<p>マッチング</p> <p>貨客混載の導入に寄与する条件とは何か。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貨客混載について、良い取組だと思うが、バスの改造費など車両への設備投資は誰が負担するのか、貨客混載によりバスが遅延した場合はどうするのかなど、まだ課題があるように思える。</li> </ul>	<p>役割分担</p> <p>貨客混載の導入に向けて、事前に協議すべき事項は何か。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスやタクシーでは対応できない末端部では、集配車に人を乗せることも選択肢の一つとして考えても良いのではないか。</li> </ul>	<p>形態</p> <p>旅客自動車による貨物の輸送の他に検討できる形態はあるか。</p>
相乗りタクシーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相乗りタクシーは人口が多く自家用車を持たない人が多いエリアでなければ運用が難しいのではないか。</li> <li>・相乗りタクシーの実証実験は人口が過密している東京都内で行われたものであり、山梨県にそのまま適用できるものではないと考える。山梨県内で導入する場合は、どのエリアにターゲットを絞って導入していくのか、事務局で案を提示してもらいたい。</li> </ul>	<p>導入条件</p> <p>本県で相乗りタクシー等を導入する場合、どのような条件の地域であれば馴染みやすいか。</p>